



## プログラム

## 午前の部

## 経営者・推進者を対象としたデジタルものづくり経営講演

テーマ 「3次元デジタルものづくりによる経営革新」

10:00~10:05

### 主催者挨拶

財団法人 やまぐち産業振興財団 副理事長 伊藤 通雄 氏

10:05~10:50

## 中小企業の価値創造が企業発展への道

～多品種少ロット製造と職人技との融合～

三松は、お客様のどんな「わがまま」にもお応えするをモットーに、3次元データを生産プロセス全体に活用し、多品種少ロット製造に職人技の付加価値を融合した効率的な多品種少量生産を可能にする「少ロット製造代行サービス」を実現。臨機応変かつ幅広い製造ニーズに対応していくなかで新たなビジネス活路を開拓し、今やデザインやデジタルものづくりの世界へも進出！活動の場を日本全国に広げようとしている。

講師：株式会社三松 常務取締役 田名部 徹朗 氏

10:50~11:35

## 「匠の技とデジタル技術」の融合によるものづくり経営

今西製作所は、1921年鑄造用木型製作で創業して以来、型の3次元形状加工技術を基軸に、各種鑄造品、鑄造用金型、試作用プレス金型、樹脂成形用金型、車体組立用溶接治具・装置の設計製作へと事業を展開してきた。特徴は、長年の型技術、素材技術の蓄積である「匠の技」と最新のコンピュータ支援による「デジタル技術」を融合させ、独自のノウハウを持って各種金型や生産設備を設計製作からトライアルまでスピーディーに一貫生産できることである。当社のものづくり経営について事例を紹介する。2008年度元気なモノづくり中小企業300社受賞。2009年度ものづくり日本大賞中国経済産業局長賞受賞。

講師：株式会社今西製作所 代表取締役社長 今西 寛文 氏

11:35~12:30

### 昼 休 み

## 午後の部

## 推進者を対象としたデジタルものづくり最新動向講演

テーマ 「進化するデジタルものづくりがもたらす設計力と現場力の融合」

12:30~13:15

## 「進化するものづくり事例」

—高度化社会の工作機械が可能にする、高度な工作・新しいビジネス!—

ものづくりの様式が、ここ数十年の間に、大きく変貌を遂げています。その根底にあるのは、情報の技術革新による高度化。それが、現場のものづくりに、今、どんな変化を与えているのか?入替精密の作品群を通して説明いたします。

講師：株式会社入替精密 代表取締役 斉藤 清和 氏

13:15~13:45

## 3次元設計再考:デジタルものづくり新潮流が3次元化を加速する5つの理由

3次元デジタルものづくり新潮流が日本のものづくりが直面している課題を解決!~設計要件のみならず生産・製造・環境要件を事前配慮した設計及び検証とは、進化するメカトロ制御設計の仮想プロト検証、そして業界が推進する3D単独図の応用展開などの概論を説明し、以降に続く各論のつながりをわかりやすく解説します。

講師：ソリッドワークス・ジャパン株式会社 マーケティング部 担当部長 金谷 道雄 氏

13:45~14:30

## 品質確保のための3次元公差・信頼性検証

正しい公差設計は、製品の「品質」と「コスト」を高い次元でバランスさせるためには不可欠である。3次元CADの更なる有効活用として、3次元公差解析ソフトを用いて信頼性検証を行う企業が増えてきている。

講師：株式会社ブラーナー 代表取締役 栗山 弘 氏

14:30~14:45

### 休 憩

14:45~15:30

## これからのものづくりをリードする3次元CAE

ものづくりの現場で3次元CAEが盛んに使用されるようになってきましたが、CAEの能力のごく一部しか利用できていないのが現状です。ここでは3次元CAEの絶大な力を最大限に活用する考え方と方法について解説します。

講師：山口大学大学院技術経営研究科研究科長・教授 上西 研 氏

15:30~16:00

## 財団法人やまぐち産業振興財団が開催する人材育成研修のご紹介

研修は、自社の価値を見だし競争力を付け、安定した経営を図ることのできる優れた経営者を育てること、企業の技術レベルを支える優れた技術者・技能者を育てることを目的に開催します。内容は「市場活性化」、「経営基盤構築」、「技術基盤構築」、「新分野参入」に分けて、「経営基盤構築」、「技術基盤構築」で多くの企業に共通する基本的な部分を行い、「市場活性化」で既存企業の活性化を「新分野参入」で事業拡大、多角化への取組を促している研修カリキュラムを紹介いたします。

講師：財団法人やまぐち産業振興財団 取引振興部長 田村 健 氏